

『悲しみは喜びに変わる』

牧師 望月 奈津子

娘が4月から保育園に通い始めました。娘にとっては、家以外の場所で、初めて家族と離れて過ごすわけですから、毎日大泣きです。ところが、そんな娘が、ある日を境に泣かずに保育園に行くようになりました。その前夜、娘と1冊の絵本を一緒に読みました。長谷川義史さんの書いた『幼稚園いやや』という絵本です。娘と私はタイトルの「幼稚園」を「保育園」に変えて『保育園いやや』という言葉で読んでいます。このような内容です。「たけしくんがいない。きょうもトイレでないている。

『ほいくえんいくの いやや ほいくえんいくの いややー』なんで、いやなのかな…『みんなでうたうたうのが いややー』まなちゃんがないている。きょうもふとんのなかでないている。『ほいくえん いくの いやや ほいくえん いくの いややー』なんで、いやなのかな…『いちごがすきやのに ももぐみやから いややー』。この後も、子どもたちが各々の理由で「保育園いやや」と言い続け、最後に「だって、お母ち

ゃんといっしょにいたいんや」という言葉で終わります。娘は、この絵本を毎日3回以上、1ヶ月続けて読んでいます。そしてこの絵本を読むようになってから、保育園で泣くことなく過ごすようになりました。

実はその前にも、読んでいた絵本があります。その絵本は主人公の子どもが初めて行った保育園で一日たくさん遊び、「あー楽しかった、また明日も行きたいな」という内容の絵本です。しかし、この「あー楽しかった」で終わる絵本の方は、私から勧めて読むくらいで、娘は自分から読もうとはしませんでした。まだ言葉を話すことが出来ない娘は、上手に自分の感情を伝えることができません。『保育園いやや』の絵本は、そんな娘の気持ちを絵と言葉で的確に表してくれたのだと思います。そして「保育園が嫌だと思っているのは自分だけじゃないんだ」という発見、「私が嫌だと思っている気持ちが、お父さんやお母さんにも伝わっているようだ」という気づきが、娘に何かしらの安心や慰めを与え、保育園

生活に立ち向かう為の力になったのではないかと私は想像しています。

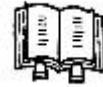
学校に行きたくない、仕事に行きたくない、家に帰りたくない、今が辛い、悲しくて苦しくて耐えきれない…自分で乗り越えるしかないと分かっているけれど、自分の中から力が湧いて来ない…。そのような時が私たちにもあります。その時、「あなた今、辛いんじゃないですか」、「そういうこと私もあった。それは嫌だよね」、そんな言葉をかけられると、今まで重すぎて沈んでいた気持ちが、少しでも軽くなります。状況は変わらないけれど、さっきまでより少し心が落ち着いて、少しでもその状況を受け入れられるかな、乗り越えられるかなと思える力が湧いてきます。そして「私の気持ちを受け止めてもらえた」、そんな喜びも湧いてくるように思います。

聖書の中でイエス様はこう言って

います。「はっきり言うておく。あなたがたは泣いて悲嘆に暮れるが、世は喜ぶ。あなたがたは悲しむが、その悲しみは喜びに変わる(ヨハネ16章20節)」。これは十字架の後の復活の喜びを示す言葉であり、「神様は、あなたの悲しみを、辛さを、痛みを、決してそのままにはさせないよ」というイエス様の約束の言葉です。私たちが悲しみと共に歩むために、辛い状況でも踏ん張るために、私たちを内側から支えてくれる言葉が、必ず用意されています。悲しんだあなた自身が受け止められる、愛される、そんな出会いが必ず用意されています。時間はかかっても、必ずあなたの悲しみは喜びに変わる。神様が変わる。イエスさまが「はっきり」と言い切ったその言葉が、私たちに喜びへと導きます。そのみことばを私たちの道の光、心の力にして今日も歩み続けて参りたいと思います。



～私の好きな聖書のことば



✠✠ 唐澤 弘さん ✠✠

私の好きな聖書のことば、それは「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」（新改訳聖書イザヤ書 43 章 4 節）です。

聖書のことばは整っていますが、これに近いことばを今まで、両親を初め誰からも掛けて貰った事はありませんでした。もう少し言うならば、その様なことばに与る境遇で生まれてきた訳でも無く、血筋でもありませんでした。しかし、聖書に出会い、このことばが自分自身に向けられている事を知った時は、うれしくてたまりませんでした。

聖書に教えられ、人は正しく清く生きなければならぬと考える様になってからは、こと更に強く感じる事ばとなりました。なぜなら、その様に生きたいと思っても、本当の自分のあり様は、嘘、体裁繕い、利己主義、ひと目が無ければ何でも出来る人間だからです。でも、その好ましくない行いに気付いた時、神様に赦しを乞い悔やむ時、こんな自分でも今の今まで失敗を重ね続けても「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」と心に神様はささやいてくださり、胸を一杯にしてくださることを実感するからです。そして、それなら又、「生きるぞ」と言う気持ちになれるからです。

✠✠ 中村 佐保さん ✠✠

“疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。”（マタイ 11：28）これまで生かされて来たなかで味わったことのない程の試練に会い、夢中で祈り求めました。“休ませてあげよう”。何と云う安らぎでしょう！

“あなたの重荷を主にゆだねよ。主はあなたを支えて下さる。主は従う者を支え、とこしえに動揺しないように計らって下さる。”（詩編 55：23）神様を（主を）信じると云うことの真実を体感しました。心と頭をからっぽにしてはじめて神様が私の内に働いて下さったのです。

“あなた方を襲った試練で人間として耐えられないようなものはなかったはずです。神は真実な方です。あなた方を耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共にそれに耐えられるよう逃れる道をも備えていただきます。”（コリント I 10:13）

試練に会うたびにこのみ言葉を心に止めてきましたが、この度新しく示されて逃れる道を備えて下さいました。生かされている今は唯々感謝の他ありません。イエス様が聖霊を通して示して下さいる真実にしたがっていきたく念じています。

讃美歌 21 533番

- 1、どんな時でも どんな時でも 苦しみに負けず くじけてはならない
イエス様の イエス様の愛を信じて
- 2、どんな時でも どんな時でも しあわせをのぞみ くじけてはならない
イエス様の イエス様の愛があるから

（苦しい闘病（骨肉腫）生活の中でこの詩を作り、7歳と云う短い生涯を終えて天に召された方です）

み言葉は数えきれないほど私の心の中に示されています。その時々、宝の箱から取り出して満たされたく祈る者です。

吾妻教会今後の主な予定

- ★7月28日（火）～29日（水）CS夏のキャンプ（足利教会と合同）
- ★9月27日（日）教会研修会…コニファーいわびつで行います。
- ★10月4日（日）特別講演会 講師：山下智子先生（新島学園短期大学）
～どうぞ今からご予定ください～

日本キリスト教団 吾妻教会（創立 1889 年 5 月 7 日）

〒377-0801 群馬県吾妻郡東吾妻町原町 444-9

主任牧師 望月 達朗

TEL0279-68-4730

<http://www5.ocn.ne.jp/~agatu-ch/>

牧 師 望月 奈津子